



# FEVER

R-18

発熱

※単行本未収録本誌188冊までの内容を含みます。



このバカけた  
作戦で、  
どうして  
生き残れようか



また死んでいく



死んでない

?



ああ、また







ははッ

その目に  
頭が撃ち抜かれた  
ような気分だった



不死身の、って  
あの鬼神？

身体中  
傷だらけでも  
生きてるっていう



小樽

なあ聞いたか？

「不死身の杉元が  
北海道に来ている  
らしいぞ」



なぜか  
今は山にこもって  
金を探している  
んだと



傷だらけの男  
なら来たよ！







傷の男と  
アイヌの娘……

あれが  
不死身の？



アハ  
アハ

ま、

あの目を見ると  
頭の中で  
銃声のように響く

ノ  
ノ  
ノ  
ノ  
ノ



撃てば  
わかるか





ノア

こいつは  
俺と同じだ

おい



あの時と同じ



あの目だ





お前は

人を救うのに  
罪悪感はあるか？

は……？



答える



罪悪感……？



無いですよ  
上等兵殿





必ず

見つけて

俺が



江波員都











はっ



はっ

頭が  
変わった



礼を言っ  
てく  
れ  
て  
も  
構  
わ  
な  
い  
ぜ？



誰が  
言うか

はっ  
はっ



ハハッ  
知ってるぜ  
お前のソレ













知っている  
と、言っただろう

不死身の杉元



なん、だよ  
おまえ...



めろ

ひとつ、  
教えてやろう

は……り

お前はいつも  
熱を  
欲しているんだ

これの原因だ

生存本能と言えば  
わかりやすいか？

生きているのに  
死人のように  
感じてしまう

俺たちは  
死に触れすぎている  
死人の冷たさに  
触れすぎたせいで

身体は  
死の冷たさに  
抗って

熱を求め

生きるには  
熱が必要だ、  
身体はわかっている

その熱は



ほら

出た

……



覚えろ一等卒

お前は不死身、  
なんだろ？

やめ……



どうしたら  
いいか  
教えてやるから

頼めよ  
救えてください  
■上等兵と

はし……



お

おしえて、  
ください……

■  
じよ、上等兵どの

アッ



あそこ

じよ、  
上等兵、  
どの



ははア  
一度じゃ足りねえ  
ようだな

ずいぶん  
溜めこんでる  
じゃねえか



も、いいで  
すよ、アアアア

こんなの変だ  
狂ってる



ほしい



さもちわるい  
のに



しかたねえ  
俺がお前の穴に  
なってる

願あけて  
こっち来い







わかったか?

アッ

この熱、  
忘れるなよ  
不死身の杉元

俺を  
欲しがれ

お前は 俺の ものだ

熱が

生きている  
という実感  
が欲しい

尾形に  
見られてから  
事あることに  
二人で処理する  
ようになった

正直  
このクセを一人で  
どうこうするには  
手を尽くしていたし

アイツに  
触られると  
なんだか  
身体が敏感に  
反応するので

都合が  
よかった



かた

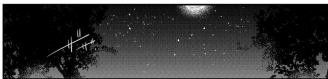
かた

さむいな……

あれだけ  
殺ればもうか



今夜  
抜け出さないと





ヤッ

ははッ

お、がたッ  
そこもう  
いじらなくて  
いい……ッ

ずいぶん  
良さそうだが……  
誰に仕込まれたんだ？



だっ  
（あつ）  
だれも、  
いねえよ

自分  
で  
いじったけど

こんな  
感じ  
なかった  
のに、

じ……



か  
なんか

お前に  
さわられてると

熱くて、  
変なんだよ……ッ

















不死身の杉元

杉元佐一

お前の全て、

俺のものに  
してやる

俺には

がないと



なんだこれ

腹の奥が  
熱い……



魂が抜けるのは  
この世での  
役目を終えてから

杉元が死なないのは  
この世での役目が  
まだ残っている  
と聞いてたんだ



あなた……  
どなた？



あんたからは

人殺しのニオイが  
ふんぷんする



かたみ...

俺も  
知りたいよ  
梅ちゃん









のんびり  
風呂に  
入るくらい  
いいだろう



夜通し  
あれだけ  
靴磨いで  
動いたんだ



あ……  
そう、か

また  
見計らって  
来たのかと  
……



杉元







!?

おがた、  
そこはっ  
だめだろ

はっ  
っ

俺、  
女の人じゃ  
ねえし



ふ...ん...

ん  
ア...



女は抱かん



俺は



わかってる  
当たり前だろ

阿呆



このひとは  
あのひとの



なら、  
俺だけの  
誰かは



お



俺で  
良いのか？





お前に  
傷をつけるのは  
俺だ



んあ？



はっ？



いつの間にか  
傷なんて  
つけたんだ



は……？  
えっと、  
けっこう前？

んんん  
やっか……

んんん









あつい  
いままで  
なんかより  
ずっと

尾形の熱が  
からだの  
おくまで  
ひろがって



くるしいのに  
うれしい

おがたあ…

きもちわるいの？



なんだ？

きもちいい…



どうしたら、俺はお前のすべてを手にする



あふれてやまないこの熱を、何度お前につつけても



俺だけのものだ

まだ、足りない 満たされない そのたびに





俺

お前となら  
しあわせになれる  
かな

幸せ  
？



お前は、俺と 違う のか



どうしたら、お前は俺と同じになる



あの時  
誓った鼓声  
消えない

お前にも  
俺と同じ  
消えない痕を  
残して

おまえの熱を  
知っているのは

ようやく  
俺のものだ

杉元



俺だけだ

尾形了……





お前は

こんなところで  
死なせねえぞ

あつい

杉元の熱と  
自分の熱が

混ざる



この熱、透く先まで  
はなさねえから

ああ、俺もだ  
杉元



徳目  
どうしぶさもなく  
お前が必死なんだ



たとえば、逝き先が地獄だとしても  
それはひとつの幸福

FEVER

発熱

BE unofficial fanbook 04  
Ogata/Supinote

ent@amisoco\_\_  
b118409@yahoo.co.jp

2019.05.04  
トム出版 様

無断転載、ネットオークション等への転売行為、  
理解の無い方の目に付くところでの閲覧はお控え下さい。



nnt

2019.05.04

GK unofficial fanbook #04 Ogata/Sugimoto